

協奏曲 10大ピアノ

The 10 Greatest Piano Concertos
Akira Wakabayashi

「若林顕」

クラシック・コンサートの華ともいえるピアノ協奏曲の人気曲10曲を一日でお届けします。ピアノは日本を代表するヴィルトゥオーゾ・ピアニスト若林顕。20歳でブゾーニ国際ピアノ・コンクール、22歳でエリザベト王妃国際コンクールにおいて第2位の快挙を果たしその後も活躍し続けている実力者です。10曲の協奏曲は10名の作曲家からそれぞれ1曲を選び10曲の人気ピアノ協奏曲を一堂にお届けします。まさに「ピアノ協奏曲の祭典」となる公演です。

©K Mura



■前半(12:30開演)

モーツァルト

ピアノ協奏曲第20番 二短調 K.466

リスト

ピアノ協奏曲第1番 変ホ長調

シューマン

ピアノ協奏曲 イ短調 op.54

チャイコフスキー

ピアノ協奏曲第1番 変ロ短調 op.23

ブラームス

ピアノ協奏曲第1番 二短調 op.15

■後半(17:30開演)

ベートーヴェン

ピアノ協奏曲第5番 変ホ長調「皇帝」 op.73

グリーグ

ピアノ協奏曲 イ短調 op.16

ショパン

ピアノ協奏曲第1番 ホ短調 op.11

ラヴェル

左手のためのピアノ協奏曲 二長調

ラフマニノフ

ピアノ協奏曲第2番 ハ短調 op.18



渡邊一正(指揮) 東京フィルハーモニー交響楽団(管弦楽)

2.27²⁰²⁷ [土] 東京芸術劇場 コンサートホール

■前半/12:30開演(11:30開場) ■後半/17:30開演(16:30開場)

※通し券を持っていても、1部終演後、一旦退館していただきます。

チケット料金(税込)

通し券(前半/後半): S席 15,000円 A席 13,000円 B席 11,000円

前半券/後半券: S席 8,800円 A席 7,700円 B席 6,600円

一般発売

2026年9月26日(土)10:00~

主催: MIYAZAWA & Co. 協賛: 株式会社パワーズアンリミテッド 協力: ヤマハ株式会社

お問合せ: サンライズプロモーション 0570-00-3337 (平日12:00~15:00) ※チケットの取扱はございません

※未就学児童の入場不可。※都合により曲目が変更となる場合がございます。※車椅子席をご希望のお客様はS席チケットを購入の上サンライズプロモーションへ事前にお問い合わせください。



©K.Miura

若林顕(ピアノ) Akira Wakabayashi (Piano)

日本を代表するヴィルトゥオーゾ・ピアニスト。20歳で第37回ブゾーニ国際ピアノ・コンクール第2位、22歳でエリーザベト王妃国際コンクール第2位の快挙を果たし一躍脚光を浴びた。その後国内外の多数のオーケストラとの共演や国内外でのソロ・リサイタル等、多忙な演奏活動を展開し現在に至るまで常に第一線で活躍し続けている。東京藝術大学で田村宏氏に、ザルツブルク・モーツァルテウム音楽院、ベルリン芸術大学でハンス・ライグラフ氏に学ぶ。2002年にニューヨーク・カーネギーホール(ワイル・リサイタル・ホール)で鮮烈なリサイタル・デビューを果たした。共演したオーケストラは、N響をはじめとする国内の主要なオーケストラのほか、ベルリン響、サンクトペテルブルク響、ロシア・ナショナル管などの海外の名門オーケストラ、ロジェストヴェンスキー、アルブレヒト、ハーディング名指揮者とも数多く共演している。室内楽の分野では、ブラッハー、イッサーリス、ルルー、バボラクなど、内外の名手達と数多く共演。また、近年はヴァイオリニスト鈴木理恵子とのデュオで、作品の本質に迫る深い音楽性が各地で非常に高い評価を受けている。また「ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ全曲シリーズ」は3度行い2017年に完結、「ショパン:ピアノ作品全曲シリーズ・全15公演」は2018年より2022年に行った。大ホールでのリサイタルも2014年、2016年にサントリーホール、2020年、2023年、2024年には東京芸術劇場コンサートホールで開催。最近では2026年2月にベートーヴェンのピアノ・ソナタ5曲を満席のサントリーホールで披露し絶賛された。レコーディングでは多数のソロ・アルバムをリリース。最新盤「ショパン:エチュード全集」など全てレコード芸術・特選盤となり、極めて高い評価を受け続けている。また、2014年以降リリースされた鈴木理恵子とのデュオによるCDも常に高い評価を受けている。第3回出光音楽賞、第10回モビル音楽賞奨励賞、第6回ホテルオークラ賞受賞。



©K.Miura

渡邊一正(指揮) Kazumasa Watanabe (Conductor)

1991年東京フィルハーモニー交響楽団を指揮してデビュー。2015年4月から東京フィルのレジデント・コンダクターおよび指揮者を2021年5月まで務める。また1995年～2002年には広島交響楽団正指揮者も歴任。これまでN響の定期演奏会を始め、日本国内の主要プロ・オーケストラへ定期的に客演しその音楽性と指揮に対する信任を得ている。オペラでは新国立劇場でマスカーニ歌劇「友人フリッツ」、バレエでも同劇場バレエ団「白鳥の湖」「くるみ割り人形」「ドン・キホーテ」などを指揮し、2006年「白鳥の湖」新演出の指揮でも大成功を収めた。またサンクトペテルブルグ交響楽団の定期演奏会に客演するなど、海外でも活躍している。ピアニストとしても8歳の時に東京交響楽団、東京フィルと協演。87年～89年まで渡欧しハンス・ライグラフ教授に師事。その後、東京フィル定期、広島響定期などで弾き振りを含むプログラムを行なうなど、ピアニストとしての才能も高く評価されている。



©上野隆文

東京フィルハーモニー交響楽団(管弦楽) Tokyo Philharmonic Orchestra

1911年創立。日本で最も長い歴史をもち、メンバー約160名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督チョン・ミョンフン、首席指揮者アンドレア・バッティストーニ、特別客演指揮者ミハイル・プレトニョフ。定期演奏会や「午後のコンサート」、オペラ・バレエ演奏、NHK他における放送演奏の他、各地での訪問コンサートや海外公演も積極的に実施。2025年秋の名誉音楽監督チョン・ミョンフンとのヨーロッパ・ツアーで絶賛を博し、国際的な存在感を高めている。国民的番組『NHK紅白歌合戦』『クラシックTV』の他2020～21年に『情熱大陸』『BS1スペシャル』などのドキュメンタリー番組にも登場。1989年よりBunkamuraオーチャードホールとフランチャイズ契約を締結。文京区、千葉市、軽井沢町、長岡市と事業提携を、刈谷市と連携協定を結び、各地域との教育的・創造的な文化交流を行っている。

■ 公式ウェブサイト <https://www.tpo.or.jp/> ■ Facebook /TokyoPhilharmonic/
 ■ X @tpo1911 ■ Instagram tokyophilharmonicorchestra
 ■ Youtube @tokyophilharmonicorchestra5039

プレイガイド ※当日券発売ありの場合は座席選択不可となります

■ MIYAZAWA & Co. <https://www.funity.jp/tickets/miyazawac/showlist> ■ チケットぴあ <https://t.pia.jp/> ■ ローソンチケット <https://l-tike.com/> ■ イープラス <https://eplus.jp/>
 ■ サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 (10:00～18:00 休館日を除く) <https://suntory.jp/HALL/>

チミヤザワ

